

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第18週の発生動向

トピックス

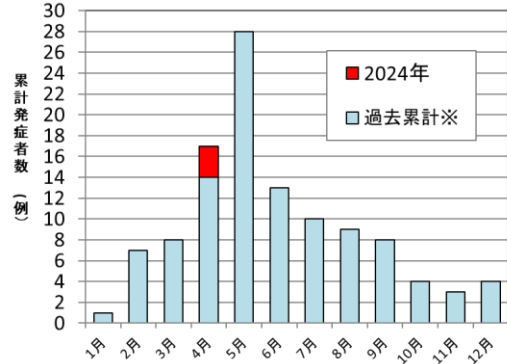
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は80歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計112例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	42	29	6

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



*2013年3月から2023年まで

全数報告の感染症 (18週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症8例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱3例。
- 5類感染症：後天性免疫不全症候群1例、梅毒3例、播種性クリプトコックス症1例、百日咳5例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等	
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	無症状病原体保有者	なし	
			80歳代	女	結核性胸膜炎	右胸水	
		都城	90歳代	男	肺結核	咳、発熱	
		日南	60歳代	男	無症状病原体保有者	なし	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)	
			0~4歳	女	—	水様性下痢、嘔吐、O26(VT1)	
		都城	0~4歳	女	—	腹痛、発熱、O26(VT1)	
			0~4歳	女	—	腹痛、血便、発熱、O26(VT1)	
			0~4歳	男	—	水様性下痢、発熱、O26(VT1)	
			0~4歳	女	—	水様性下痢、O157(VT1,2)	
			5~9歳	男	—	腹痛、水様性下痢、嘔吐、発熱、O26(VT1)	
			5~9歳	男	無症状病原体保有者	なし、O26(VT1)	
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80歳代	女	—	発熱、頭痛、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹	
		宮崎市	70歳代	女	—	発熱、発疹、肝機能異常	
	日本紅斑熱	延岡	70歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、腎機能異常	
		高鍋	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、腎機能障害	
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	40歳代	男	無症候性キャリア	なし	
		梅毒	宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
	宮崎市		50歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性パラ疹	
	都城	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし		
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	男	—	発熱、意識障害、真菌血症	
		百日咳	宮崎市	0~4歳	男	—	持続する咳
				10歳代	女	—	持続する咳
			高鍋	0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
日向		0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み		
日向	70歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、白血球数増多			

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は497人(定点当たり12.8)で、前週比60%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

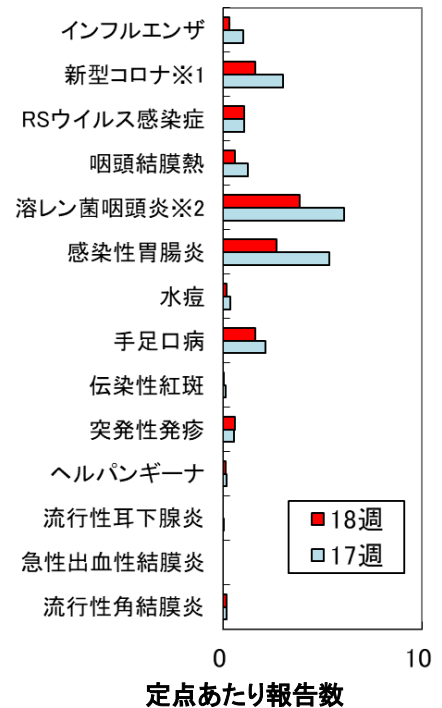
報告数は93人(1.6)で、前週比54%と減少した。中央(3.5)、日南(3.4)、延岡(3.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が約3割だった。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は139人(3.9)で、前週比64%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約3.2倍であった。宮崎市(5.4)、延岡(5.0)、日南(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は3歳から7歳が全体の約半数を占めた。

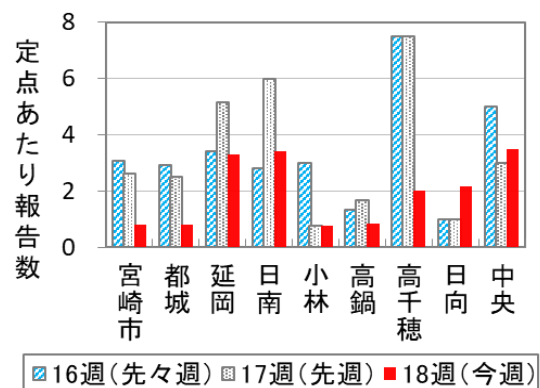
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

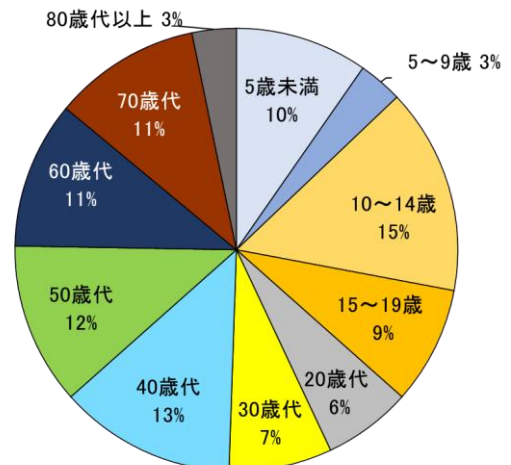


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

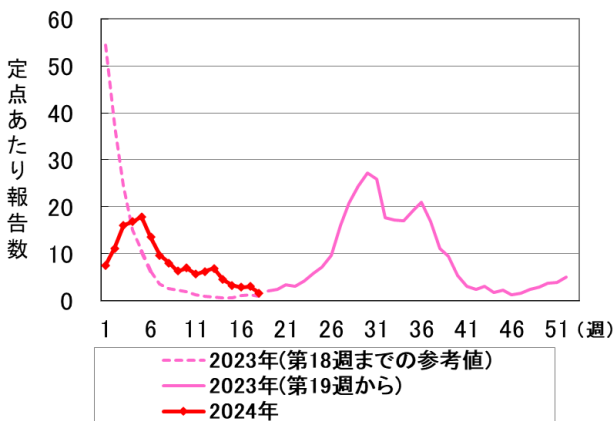
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第18週)

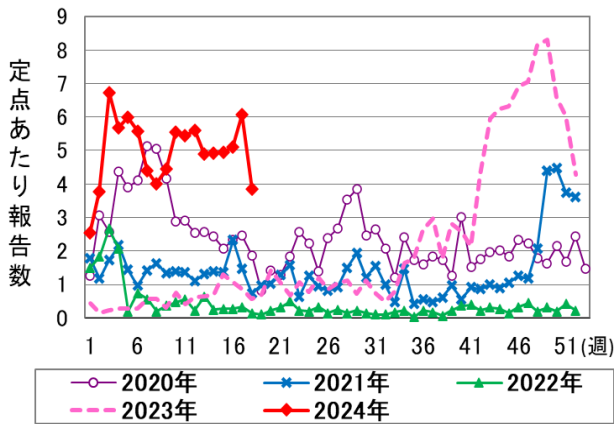


新型コロナウイルス感染症 発生状況

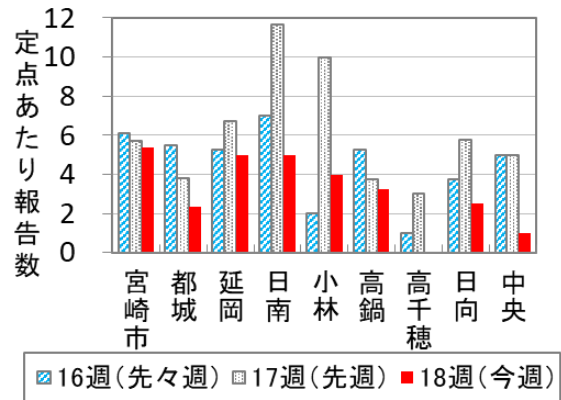


※新型コロナウイルス感染症の第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移 (3週分)

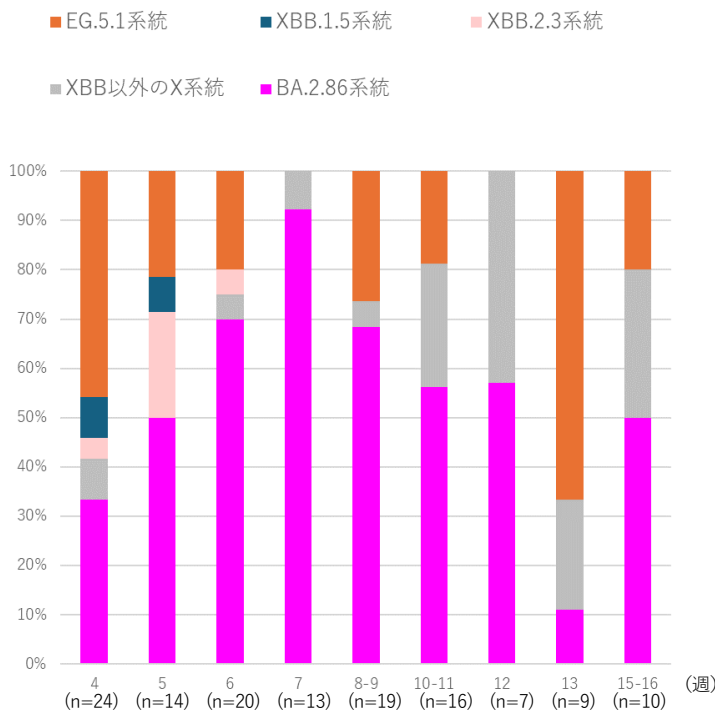


★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患 なし

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報 (衛生環境研究所微生物部)

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第15-16週でBA.2.86系統が50%を占め、JN.1系統 (BA.2.86.1の子孫株) は20%を占めている。

※BA.2.86系統はBA.2系統の亜系統で、スパイクタンパク質はBA.2系統に比較して30以上、XBB.1.5系統に比較して35以上のアミノ酸の違いがある。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

✚ 全国 2024 年第 17 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	234 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	26 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	9 例	重症熱性血小板減少症候群	4 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	7 例	日本紅斑熱	12 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	14 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	28 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	7 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	27 例	後天性免疫不全症候群	10 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性肺炎球菌感染症	52 例	水痘(入院例)	8 例
	梅毒	192 例	播種性クリプトコックス症	4 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	百日咳	24 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 100%と横ばいだった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 5,234 人(1.1)で前週比 58%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.82)の約 1.3 倍であった。山形県(3.6)、沖縄県(3.1)、山梨県(2.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 15,786 人(3.2)で前週比 88%と減少した。沖縄県(8.3)、秋田県(6.4)、岩手県(6.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第18週(04月29日～05月05日)

疾病名		第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	59	18	8	2		6					2
	定点当り	1.02	0.31	0.50	0.20	0.00	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	173	93	13	8	23	17	3	5	4	13	7
	定点当り	2.98	1.60	0.81	0.80	3.29	3.40	0.75	0.83	2.00	2.17	3.50
RSウイルス感染症	報告数	37	38	10	9	3	12		1		2	1
	定点当り	1.03	1.06	1.00	1.50	0.75	4.00	0.00	0.25	0.00	0.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	45	21	9	3			1	1		6	1
	定点当り	1.25	0.58	0.90	0.50	0.00	0.00	0.33	0.25	0.00	1.50	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	218	139	54	14	20	15	12	13		10	1
	定点当り	6.06	3.86	5.40	2.33	5.00	5.00	4.00	3.25	0.00	2.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	192	97	22	24	2	15	14	6	2	10	2
	定点当り	5.33	2.69	2.20	4.00	0.50	5.00	4.67	1.50	2.00	2.50	2.00
水痘	報告数	13	6	2	1	1		2				
	定点当り	0.36	0.17	0.20	0.17	0.25	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	77	58	19	26		4	3	2	1	1	2
	定点当り	2.14	1.61	1.90	4.33	0.00	1.33	1.00	0.50	1.00	0.25	2.00
伝染性紅斑	報告数	4	1	1								
	定点当り	0.11	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	19	21	9	5	3		1	2		1	
	定点当り	0.53	0.58	0.90	0.83	0.75	0.00	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	6	4	2		1	1					
	定点当り	0.17	0.11	0.20	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.17	0.17	0.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～18週 保健所受理分)

2類感染症	結核	29例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14例(8)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	3例(1)
	日本紅斑熱	4例(3)	レジオネラ症	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	2例(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	1例(1)	百日咳	30例(5)
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
			梅毒	57例(3)

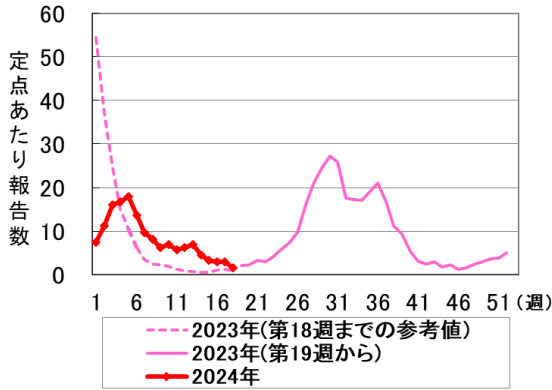
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第18週、全国第17週（再掲）》

□ 県内第18週 新型コロナウイルス感染症発生動向

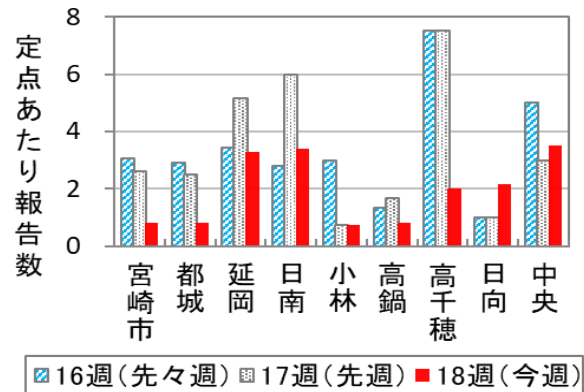
4月29日～5月5日までの1週間で93人(1.6)の報告があった。前週比54%と減少し、中央(3.5)、日南(3.4)、延岡(3.3)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

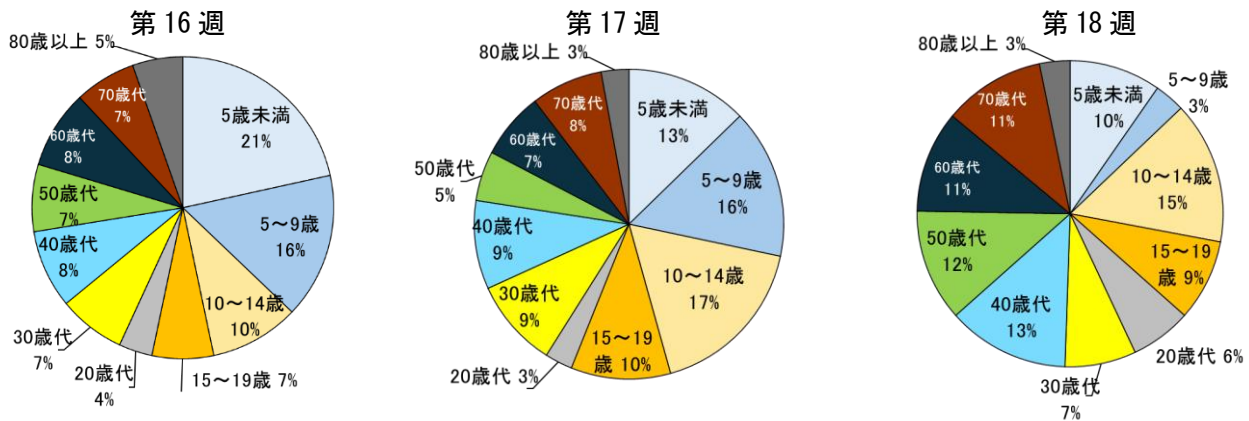


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

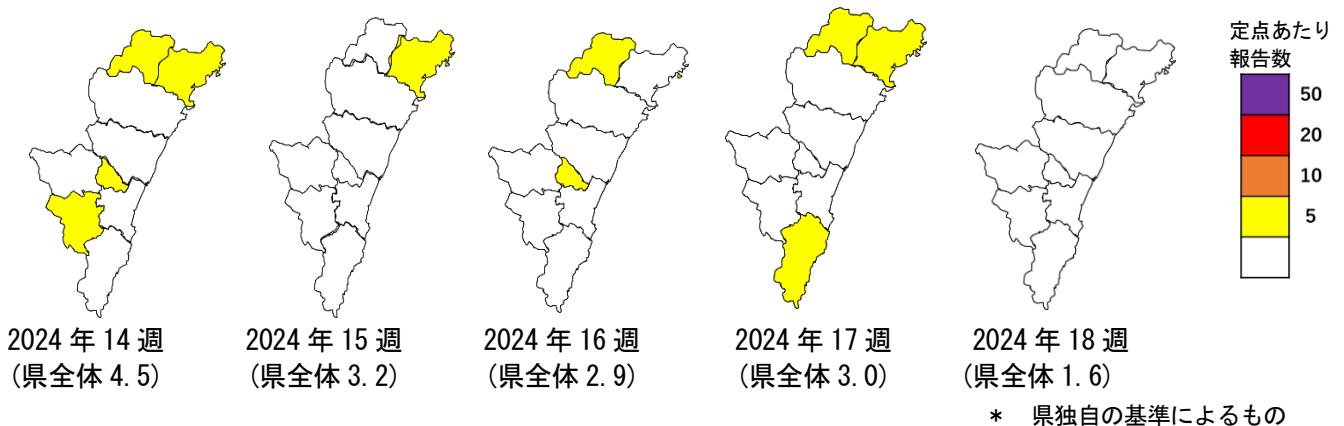
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第14週～2024年第18週



□ 全国第17週 新型コロナウイルス感染症発生動向

4月22日～4月28日までの1週間で15,786人(3.2)の報告があった。前週比88%と減少し、沖縄県(8.3)、秋田県(6.4)、岩手県(6.2)からの報告が多かった。年齢群別では15歳未満が全体の約3割を占めた。